【木の葉の化石をほりだそう！】

知が啓く。 啓林館

● どんな実験なの？

化石は、大昔の生き物が土の中にうもれ、長い年月とともに石に変わったものです。化石を調べると過去にどのような生き物が生活していて、どのように変わっていったのかがわかります。また化石が発見された場所から、化石をふくむ地層のできた年代や環境を知ることができます。

今回は実際に、岩石から化石をほりだしてみましょう！

● 用意するもの（※全て会場にて用意していますので、手ぶらで来てください。）

① 化石原石

栃木県の那須高原にある塩原湖のまわりでとれたものです。木の葉、実、植物、虫、魚などの動物が湖に流れこんだ土の中に閉じこめられていて、現在220種類の化石がほりだされています。

（植物の例：イヌブナ、サワグルミ、ヤシャブシ、クリ、ブナ、ミズナラ、マツモ、カツラ、ナツツバキ、ヤマザクラ、ナナカマド、カエデ、ツツジなど。）



イヌブナ

この化石植物が生きていた時代は新生代第4洪積世とよばれ、地球の歴史からみるとかなり新しく、今の植物とすがた形がよく似ています。

「提供：木の葉化石園」

② タガネ、ハンマー、実験用ゴーグル

タガネを岩にあてて、ハンマーで軽くたたきます。地層にそって岩を割ることができます。

● 気をつけること

① かならず実験用ゴーグルを着けましょう！

② ハンマーで打つときに、手に当たらないように注意しましょう！

③ 木の葉化石は、もともと泥でできたやわらかい石なので、力加減に注意して割るようにしましょう！

● もっとくわしく知るために

木の葉化石園　（http://www.konohaisi.jp/）

〒329-2924　栃木県那須塩原市中塩原472　Tel 0287-32-2052